

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	CONET		
○保護者評価実施期間	2025年 9月1日		～ 2025年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2025年 9月1日		～ 2025年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月3日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されている。	保護者さまとの面談を必ず実施し、内容の説明や目標の意図などを説明させていただいております。その時に保護者さま(お子さま)のニーズを把握し、目標への追加、または支援内容への反映を行っております。現状把握からの課題設定、個々の特性やニーズにあった個別支援計画の作成(5領域の関連性)支援プログラムの目的と振り返り、専門性を考慮したプログラム提供を意識しております。	日々のカンファレンスにおいて現状の分析を図り、目標達成に向けた、より具体的な課題を職員間で把握し共有する。
2	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられている。	本人意思の尊重を大切に、意識した療育支援を行っております。また幅広い療育の実施が行えるよう、スタッフの質やスキル向上を図るために、様々な研修や訓練に参加しております。専門職員によるプログラムの立案・設定及び、専門的支援の実施を行っております。	職員間で個々の活動プログラムのPDCA(計画・実行・評価・改善)をより明確化し共有することで、質が高く、適正な療育を提供する。
3	保護者への説明等(家族支援・地域支援)	面談や交流を通じて、成長過程におけるライフステージや、ご家庭での日々の悩み・困りごとなどに対し、解決に向けた助言やサポート及び、関係機関・地域での包括的な支援を踏まえ、お子さまの成長を共有しております。	家族支援や関係機関、学校、園との連携から見えた具体的な必要性を明確にし具現化していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動の様子を保護者さまへ発信するアプリの活用等	毎月配布のおたより、日々の連絡帳や口頭(送迎時やモニタリング時)で利用時の様子を共有する事はできているが、個々への画像等の発信が少ない。	既存のインスタグラムや、新たに開設した公式LINEを活用し、情報や日々の支援の様子を発信していけるよう検討します。
2	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会	法人内の他事業所との交流は設けてきたが、その他地域の他事業所と関わる機会が少ない。保育園や認定こども園、幼稚園と交流する機会をなかなか設定できずにいる。	近隣の園との交流会、及びイベントの招待の打診を行っています。実施に向け努めてまいります。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 CONET

公表日 2025年11月4日

利用児童数 17

回収数 13

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1		2	・体を動かせるスペースと、机があるスペースが 階で分けられていて良かったです。	1階、2階の活動スペースを設け活動に 応じた環境の配慮を行っています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	11			2	・適切な人数だと認識しています。	基準配置と専門支援プログラムが充分に 行える体制を配置しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	10			3	・子ども達が使いやすい環境だと思います。	階段には手すりを設置、特性に応じ視覚 での伝達を取り入れています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12			1	整っている印象です。	毎日の清掃と子どもたちが触れるところ の消毒を行い、安心して過ごせる空間を 維持しています。
適切 な支 援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	12			1	・半年ごとに目標を変えられる位（モニタリ ング）子どもの変化を感じています。 ・日々内容が異なり、楽しみに通っています。	専門的実施支援プログラムでの専門性を 高めた支援を取り入れています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	12			1	・将来に向けた支援がしっかりなされていて日に 日にできるようになっています。	毎月、療育プログラムとして公表してい ます。お子さま一人一人に合わせた支援 ができるように引き続き努めてまいりま す。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	12			1	・課題点が達成できるようになったこともありま した。	引き続き、保護者さま・お子さまのニ ーズを聞き取り、必要な支援ができるよ う支援計画の立案を行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具 体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1	・身辺自立は特に適切な支援のおかげでできるよ うになっています。	より良い支援ができるよう、お子さまに 必要な支援内容について具体的に設定で きるよう引き続き努めてまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			1	・苦手なことも楽しく少しずつ克服できているこ ともあります。	計画を基にプログラムに沿った支援を提 供しております。打ち合わせや振り返り を行い、より充実した支援ができるよう 引き続き努めてまいります。
	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思 いますか。	12			1	・毎月発行されるプリントで確認していますが、 毎日異なる内容で感じています。	引き続き目的や意図に応じてプログラム 内容を検討・実施してまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと 活動する機会がありますか。	7	2		4	・イベント等も多いのでその際交流があると思 います。 ・公園に行ったり、別の事業所と合同だったりあ るの交流はしていると思う。	事業所間との交流は実施してまいりまし た。保育園、幼稚園、地域間との交流会 については近隣の園と検討中です。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	12			1	・時間をしっかり作って頂き説明がありました。	引き続き、丁寧でわかりやすい説明に努 めてまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12			1	・1ページずつ確認しながら説明がありました。	引き続き、面談の際に丁寧な説明を心が けてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニ ング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	11	1		1	・普段の連絡帳から支援内容の中で自宅できる 事の記載あり。 ・プリント配布にて情報提供があったと思いま す。	プログラムとしてペアレントトレーニ ングは行っておりませんが、ご相談等ある 場合には個別に対応しております。今後 も何かございましたらお気軽にご相談く ださい。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	12			1	・連絡帳にて確認とれていると思います。	連絡帳や保護者さまとの連絡ツールとし て個別のLINEを通して行っております が、それ以外でも何かございましたらお 気軽にご相談ください。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12			1	・面談があるのでその際にできています。	支援計画の更新に合わせ、定期的に面談 を行っておりますが、それ以外でも何か ご相談がありましたらお気軽にお声がけ ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12			1	・連絡帳で支援うけていると感じます。	引き続き、ご家族やお子さまの状況に寄 り添った支援ができるよう努めてまいり ます。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3		3	・保護者会の必要性はないと感じます。またきよ うだい向けイベントは場所の広さの観点より難し いと感じます。 ・父母の会にまだ参加していないのでわからな い。 ・発表会等、家族で参加できるので支援されて いると思います。	今年度も保護者交流会を開催させて頂 き、たくさんの保護者さまにご参加して 頂きました。ありがとうございました。 またクリスマス会等交流の場も今後予定 しております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12			・LINEにて相談も可能なので対応も早いです。	お気軽にご相談頂けるような環境を整えることを意識しております。お話しした内容につきましては迅速かつ適切にご対応できるように努めてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			・子どもにもしっかり配慮した伝達がされていると思います。	今後も密接に連携が取れるよう、コミュニケーションを取ってまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	1		・友人の子の通所先はその日の活動がアプリで共有されているそうです。 ・連絡帳や通信を確認しています。	おたより、HP、公式LINE、インスタグラム等の活用で発信を行っております。今後も周知に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			・しっかりされていると思います。	引き続き、個人情報の取り扱いについて十分に留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12			・書類を用い面談時説明ありました。	今年度も安全計画等の策定通りに実施しております。避難訓練に加え、感染症や防犯なども職員間で実施訓練を行っております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			・書類を用い面談時説明ありました。	定期的に避難訓練（火災・地震）を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			・書類を用い面談時説明ありました。	安全計画等を策定し、社内で研修を行っております。何かお知らせすべき事項がある際は、おたより等で周知しております。引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			・書類を用い面談時説明ありました。	事故対応について、マニュアルに定め社内でも周知しております。事故発生時には迅速かつ適切な対応に努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12			・信頼している先生が複数いるようです。	お子さまが安心して過ごせるよう引き続き努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12			・毎週利用日の朝伝えると楽しみと言っています。 ・寝れていても保育園は休むけど、通所は休まないという意思が強いです。	お子さまが楽しんで活動に参加できるよう引き続き努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12			・適切な関わりのおかげで家や園では見られない自主力を知れて大変満足しています。 ・できることが増え変化を感じています。	今後とも事業所の運営・支援にご満足いただけることを目指し、スタッフ一同尽力してまいります。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
CONET		2025年 11 月 4 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		児童のために収納スペースを機能的に配置し、安全な教材の管理を徹底しています。	今後もスペースの有効活用を心がけてまいります。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		児童指導員や保育士の配置数を利用定員や児童の特性に合わせて調整しています。	法令上の基準は満たしているため、今後も職員のスキルアップに努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		活動内容ごとにスペースを区切り、時間や活動内容が視覚的に分かりやすいように表示しています。	引き続き子どもたちが分かりやすくかつ過ごしやすい構造化された環境を目指し、適切な配慮を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎日清掃や消毒を行う体制を整え、利用する子どもたちが安心して過ごせる空間を維持しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	活動内容に合わせて、静かに過ごしたい場所、集中したい場所、人目につかない場所など設定しています。	引き続き環境整備に努めてまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		職員全員が目標設定や振り返りに参加し、継続的に業務改善を行うPDCAサイクルを回すことができている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		保護者様から頂いたご意見を職員間で共有し、業務改善に努めている。	職員全体で保護者ニーズを把握し、引き続き改善に向けて努めてまいります。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		定期的な職員会議で課題や改善点について話し合い、情報共有と共通理解を深め、業務改善に繋げている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		8	必要に応じて第三者より外部評価を行える環境にはある。	必要に応じて実施を検討いたします。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		社員総会の中で研修を行っている。日々業務の中でも様々な研修が受けられる環境が設定されている。	引き続き社内研修や社外研修に積極的に参加し、学びの機会を確保してまいります。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		具体的な活動内容や目標を明確に示し、子ども一人ひとりのニーズに沿った支援が行われていることを工夫している。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		送迎時や必要に応じて保護者面談を設けるなどしてニーズの聞き取りを行い、支援が必要とされる点のすり合わせを行っている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		子どもたちの自立支援と日常生活の充実、地域交流の機会の提供、子どもたちの豊かな発達を促すことをしている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		職員それぞれが担当する活動に落とし込み、計画達成度を日々の活動の中で確認できている。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		送迎時や必要に応じて保護者面談を設けたり、日々の行動の様子を職員間で共有している。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		児童発達支援ガイドラインに基づき、支援内容を設定しています。	引き続き、より良い支援ができるように努めてまいります。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		職員で意見を出し合い、活動プログラムを作成している。実施結果から難易度等の調整を話し合いプログラムに繋げている。	引き続き、職員間で意見交換しながら、プログラム立案が行えるようにしていきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		四季に触られるように毎月季節に合わせたプログラムを取り入れて実施している。偏りが生じないようにしている。	固定化が必要な内容については意図的に行い、お子さまが楽しく活動できるよう工夫してまいります。

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		児童の特性や活動状況に応じて、個別・集団を分け柔軟に組み合わせています。支援計画に記載している。	今後も必要に応じて適宜集団活動も提案し、計画に沿った支援ができるよう取り組んでいきます。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		その日のスタッフが全員出勤後にミーティングを行い活動内容や役割分担、お子さまの情報について共有している。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		必ず職員間で打合せ、児童の状態や支援内容の情報共有し起こりうる状況を想定して準備、対応をしている。	今後も綿密な打ち合わせを実施し、支援に活かしてまいります。
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		必ず記録を取り、職員間で共有し、蓄積し、より良い支援に繋げていくようにしています。	社内独自の手引き等を活用し、適宜記録の記入方法を確認できるようにしてまいります。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		モニタリングを定期的に行い、ミーティングで支援内容の見直しの必要性を常時検討しています。	より広く職員が参画できるよう、事前に計画を立ててモニタリングを実施していきます。
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		利用者様に精通した職員がサービス担当者会議に出席しております。	内容については事業所内で共有を行っています。
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		主催する研修を受講し情報収集に努めたり、地域の現状の情報収集を行っている。	内容については事業所内で共有を行っています。
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園等)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		併行利用や次のステージへの移行がスムーズに行えるよう電話やメールで情報交換や情報共有を行っています。	より積極的な連携を図ります。
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学する学校や担当者との連携を図り、子どもの情報をしっかり把握した上で継続的な支援を心がけている。	より積極的な連携を図ります。
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	1		内容については事業所内で共有を行っています。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4	地域の祭りやイベントに積極的に参加し、地域の人々との直接交流する機会を設けている。	他事業所の交流は行ってまいりました。今後園、地域交流について実施を検討しております。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		子どもの様子を日常的に保護者に伝え、家庭と連携して育成支援を行っている。	引き続き、密にコミュニケーションが取れるように努めてまいります。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		保護者会を実施し、子育てや就学等に関する情報共有の場を設けている。	モニタリング実施時や必要に応じて特性による関わり方や連携することを提案し取り組んでいますが、研修会は行えていません。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		必要な情報や利用負担等について説明している。難しい内容については繰り返しお伝えし、保護者様の負担軽減に配慮している。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		保護者の意向を尊重しつつも、子どもの将来の自立と社会参加を最優先する視点を持ち、支援方針が子どもの最善利益に繋がっている。	今後も要望や意向の確認をしながら作成してまいります。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援計画の原案を保護者に示しながら話し合いを行い、合意形成を図りながら支援計画を作成しています。	今後も丁寧な説明に努めてまいります。
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		日々の送迎や連絡帳、面談、メール等の様々なツールを用いて対応し、個別に支援しています。	引き続き、保護者さまとの信頼関係が構築できるように努めてまいります。

護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8		保護者会を開催し、交流する機会を設けている。兄弟も連れて参加する保護者様もいるため、今後兄弟同士でも楽しめるプログラム等も準備し開催できるように努める。	今年度も保護者交流会を開催させて頂き、たくさんの保護者さまにご参加して頂きました。ありがとうございました。また、クリスマス会等交流の場も今後予定しております。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		保護者や子どもからの相談や申し入れについては、迅速に対応できるように努めている。	相談や申し入れがあった際は迅速かつ適切な対応に努めます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		メールや連絡帳、活動記録を発信している。行事等がある際は、保護者にプリントなどで配布しています。	今後も情報発信の充実と周知に努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報は鍵付き棚に保管している。個人情報の扱いはミーティングで職員に対し注意喚起している。	今後も個人情報が記載された書類の取り扱いに十分に留意してまいります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		分かりやすい伝達方法を工夫したり、伝わる方法を利用者や保護者様に合わせるようにしています。	引き続き、よりよい支援ができるように努めてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3	社会体験として施設外に出ることで、地域の方と触れ合える機会を設けている。	今後も、地域に開かれた事業所運営ができるよう努めてまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		ミーティング等でマニュアルを確認する時間を設け、有事の際を想定した訓練を実施している。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		避難訓練、防災に関する学習を行っています。	引き続き、訓練等の実施と内容の周知を行ってまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		契約時にお子さまの状況を確認し、お子さまの情報を記載した一覧表を作成して全スタッフが確認できるようにしている。	てんかん等の対応について職員間で周知できるようにしていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時に必ずアレルギーの有無を確認し、家庭と連携しながら対応し必要に応じて医師による指示書提示。	飲食のイベント等は、併せてアレルギーの有無を確認いたします。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		定期的な研修を実施し、日々の業務の中で気づいた危険箇所や改善策を共有する仕組みを設けている。	引き続き、安全に留意し支援を行ってまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		お便りや通知文等で安全計画内容を配布し、保護者に周知している。	引き続き、内容の周知を図ってまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		ヒヤリハット報告書を作成する仕組みを整えている。ミーティングヒヤリハットを振り返り、事業所全体の危機管理への意識向上に努めている。	毎月ヒヤリハット報告をし防止に向けた改善策を検討しております。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		虐待防止研修は毎年必ず実施し、定期的に外部の研修等にも参加しています。	引き続き、関係機関との連携を図りつつ、定期的に研修を実施してまいります。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		身体拘束については、職員間で周知・研修を行っています。	必要な場面には十分に検討し、丁寧な説明を行うとともに身体拘束の適正化に努めます。	